

奈良県三郷町 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	観光入込客数【8、8.9、9、9.1、9.b】	2021年9月 386,912 人	2022年 1,171,502 人			2030年 1,500,000 人	70%
2	町内法人数【8、8.3、8.5、8.8、9、9.2】	2020年 240 社	2022年 248 社			2030年 260 社	40%
3	健康寿命（男性）【3,3.8,17,17.17】	2018年 10 位 （県内）	2022年 8 位 （県内）			2030年 1 位 （日本）	22%
	健康寿命（女性）【3,3.8,17,17.17】	2018年 2 位 （県内）	2022年 4 位 （県内）			2030年 1 位 （日本）	-200%
4	ICTドリームスクール活用児童生徒数 【4,4.1,4.5,4.a】	2020年 1 人	2022年 10 人			2030年 10 人	100%
5	予約制乗合タクシーの自動運転地域 【9、9.1,9.4】	2021年 未整備	2022年 未整備			2030年 町全域	0%
6	再生可能エネルギー発電容量【7,7.2】	2021年9月 3,476 k w	2022年 4,004 k w			2030年 5,000 k w	35%
7	ZEB・ZEHの支援件数 【7,7.2,11,11.3,11.c、13、13.1、13.3】	2021年9月 0 件	2022年 2 件			2030年 100 件	2%
8	雨水溢水地区対策件数【11,11.5,11.b、 13、13.1、13.3】	2021年9月 2 件	2022年 3 件			2030年 10 件	13%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2024年 目標値	達成度 （%）
1	①地域資源を最大限に活用し、三郷町へ新しい人の流れを作る取組	観光（温浴）施設利用者数	2021年9月 0 人	2022年 43,446 人			2024年 105,000 人	41%
2		サテライトオフィス誘致企業数	2021年9月 16 社	2022年 18 社			2024年 30 社	14%
3		ICT農法によるメロンの売上げ	2020年 1,696,000 円	2022年 3,956,000 円			2024年 3,720,000 円	112%
4	②地元への愛着を育み、健康寿命日本一をめざす取組	フレイルサポーター数	2020年 15 人	2022年 15 人			2024年 30 人	0%
5		観光ボランティアガイド（カルチャーメンター）	2021年11月 64 人	2022年 60 人			2024年 100 人	-11%
6	③環境にやさしい賢い選択ができる、低炭素から脱炭素へのまちづくりの取組	住宅の再エネ設備等導入支援件数	2021年9月 542 件	2022年 682 件			2024年 850 件	45%
7		ZEB・ZEHの支援件数	2021年9月 0 件	2022年 2 件			2024年 30 件	7%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

○(1)No.3 健康寿命（女性）	コロナ禍で健康寿命を上げる取り組みができていない。コロナ禍でも取り組みを実施できるような体制の整備を検討していく。
○(1)No.4 ICTドリームスクール活用児童生徒数	GIGAスクールによる児童生徒1人1台端末配布の実現に伴い、病気や不登校の児童生徒が家庭でオンライン授業を受けることが可能となった為、実績増につながっている。また、中学校の別室登校生徒へも必要に応じてオンライン授業を行った。コロナ禍により、小学生児童の不登校が増えていることから、今後は小学校の別室登校児童にも同様の支援を推進する。
○(1)No.5 予約制乗合タクシーの自動運転地域	奈良県「自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験を行う候補地の選定について」に三郷町が選定された。令和5年度以降、奈良県と連携し、実証実験を行い、実装に向け、事業を推進していくため、協議会の開催を令和4年12月1日に実施した。
○(1)(2)No.7 ZEB・ZEHの支援件数	ZEBについては、該当すると考えられる案件がなく、ZEHについては、広報等で支援制度の周知・啓発を行い、2件の実績があった。引き続き、広報等で支援制度の周知・啓発を行い、太陽光発電システムの補助申請時にZEH導入支援制度の案内をする等、支援制度の周知・啓発を積極的に推進し、ZEB・ZEHの導入促進を図る。
○(1)No.8 雨水溢水地区対策件数	令和4年度は、町内で最も浸水被害が大きい惣持寺地区において、内水を貯留するための調整池整備工事を実施。また、新たに大和川に排水する新設樋門工事（惣持寺第二樋門整備工事）を大和川河川事務所受託工事で併せて実施している。令和5年度においては、惣持寺地区調整池整備工事を継続して実施する。
○(2)No.3 ICT農法によるメロンの売上げ	本事業も3年目に突入り、漸く収穫も安定してきた。また、メロンジェラートやメロンパフェ等、加工品への開発も進み、売上も右肩上がりで伸びている。今後は、コロナの影響も無くなり、メロン狩り等の集客が期待できる。
○(2)No.4 フレイルサポーター数	フレイルサポーター養成講座を実施し、フレイルサポーターを養成する事業だが、コロナ禍の影響によって中止となった。
○(2)No.5 観光ボランティアガイド（カルチャーメンター）	亀の瀬以外の三郷町・柏原市域も含めたガイドが出来るよう、マスターガイドの育成を行った。これから施設（亀の瀬西口駅、東口駅）が整備される中でサービス内容を固めていく必要がある。